

## 広域連携プランは

太田 薫 議員

### 広域連携をさらに強化しよう



**問** 私は今回の離脱には、一と一という立場をとった。

一市四町の合併によって期待されていた広域未来ビジョンがあるからで、合併協にはまた戻ってほしいと思っている。

今般、維新プロジェクトを早々に立ち上げた副作用によって、他の地域に対して広域連携というよりは遊佐町の孤立化が懸念されている。自立の中には排他的な考えを醸成する危険性をはらんでいる。広域連携は当地域観光の

基本だが、観光開発公社、また、観光協会や総合交流促進施設などの観光支援組織は

新市との連携をどのように行っていくのか何う。

**町長** 合併は行政の体質改善等の手段であり、目的ではないと考えている。従って、合併離脱はしたが日常生活圏や経済圏は同じであり、

今後もこれまでと同様に進めていくし、孤立するのではなく、住民と行政が一体となり、分権時代にマッチした「小さくとも、心かよえる、光る」町づくりを目指し、最大の努力をしていきたいと考えている。

観光の広域連携については、これまでも取り組んできたが、近年観光客のニーズが体験・本物志向・ストーリー性のある観光・さらに、県外からの観光客は一町一県の観光では満足しない広域ルートを求めてきているので、これまで以上に広域連携を強化していく考えである。



空から望む北庄内地域